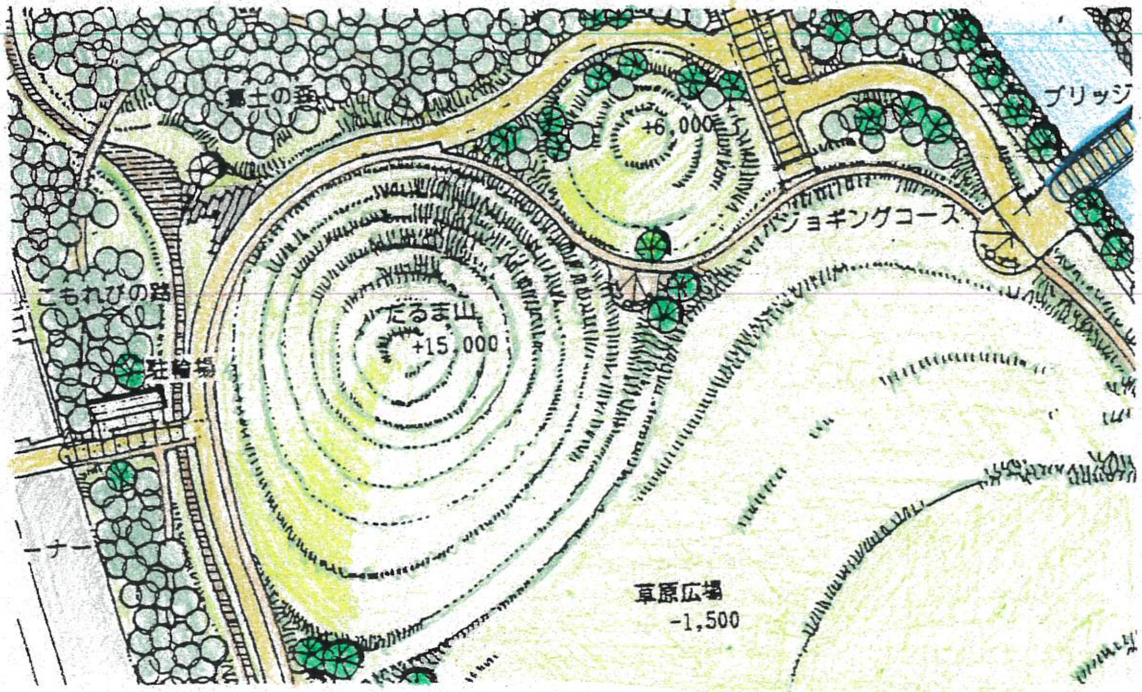
草原広場



・草原広場は防災上遊水地として位置づけられており、遊水量を確保する為に1.5m～2.0mの沈床した広場とする。その容量は約28,000tである。

・この広場は、与野の原風景を色濃く残すために落葉樹の疎林や草原の水辺等を配した、与野市で最も広い草原とし、市民まつりなどの大きなイベント会場としても活用する。

・子供達は春には花を摘み、夏は昆虫を追いかけ、秋はススキの穂波の中でトンボを追い、冬はタコあげに興じるだろう。

・樹木は子供達の木登りに、また緑陰は休憩場所となる。

・大人達は昼寝や家族でのピクニック、またペットと一緒に遊ぶことも可能である。

・また比較的起伏のない与野市では、自分達の街を俯瞰する場所が得られなかったが、本公園では大きな山を築き、子供達にその機会を与えるものとした。

・大きな山は子供達の斜面すべりに格好の場所となり、山の頂上は眺望点、あるいはかけっこの目標地として大いに使われるにちがいない。